

「やる気」はあつた方がいいの？

広島市立安佐中学校一年 木川 遥登

僕は、やる気を出してなにかに取り組んだ
ことがありません。そもそもやる気って必要
なのでしょうか。

宿題とか、やらないといけないことは、や
る気がなくても取り組むことができるから、
別にやる気は必要ないと思いました。そこで
「やる気」とは何かをインターネットで調べ
てみました。すると「やる気を入れるとクオ

リティ、ヤスピードがまして、同じことをやる
にも効率的になる」と出てきました。これを
見て、「やっぱり同じことをするならやる気
を入れてやるほうがいいな」と思いました。
しかし、ここで一つ疑問が生まれました。

「やる気ってどう出せばいいの!?!」みなさん
は、やる気って出そうとすれば出せますか。

僕は出せません。僕は、面倒くさがりな性格
なので、すぐ「めんどくせー」ってネガテイ
ブなことばかり考えてしまいます。しかし、

やる気を出さないと勉強にしても、剣道にしてもはかどりません。「どうにかしてやる気を出せるようにならないと」と思い、先ほどと同様にネットでもやる気出し方をと調べて実践してみました。調べていたら、その一「リフレッシュしよう」と出てきたのでやってみました。リフレッシュでゲームをやってみたけど、ゲームに夢中になつてやる気どころじゃありませんでした。その二、人と競争する。これならできそうだと思い、妹とどちらが先に勉強が終わるのかを競争してみました。しかし、途中で面倒くさくなつてしまいました。駄目でした。やる気の前に僕の性格が出てしまいました。その三、睡眠をとつてやる気をUP!!をやってみました。しかし、いつも以上に寝てしまい、眠たくてやる気がなくなつてしまいました。本末転倒です。ここまですべて成功していません。「もう無理なのか。」「とおちこんでいたとき、その四「ごほうびをよういする」と出会いました。

「これならいける。」と思いましたが。僕はご飯を食べることが大好きだから、勉強が終わった後のご褒美に大好きなチーズケーキを用意してみました。すると、心の中で「勉強を早くおちらせてやる。」というやる気がわいてきたのです。その四の方法が成功して喜んでいたらときに我に返りました。「あれ？毎回ご褒美を用意するのは色々コスパが悪くないか。」と気づきました。ということ、その四も失敗ということになりました。

インターネットにある方法を検証してみたけれど、どれもうまくいきませんでした。

しかし、試行錯誤していく中で分かったことがあります。やる気には、二種類の性質があると考えられます。一つ目は、先ほどのチーズケーキと同じようにご褒美をもらうためにやる気を出す方法は、ご褒美がなくなるとやる気もなくなってしまうです。つまり、見返りがなければ、努力ができない人間になってしまいかねません。二つ目は、もうすでに

お気づきかもしれませぬ。この作文にその答えが隠されています。繰り返しになるけど、僕は面倒くさがりな性格です。宿題とかやらないといけないことはやる気がなくても取り組めます。そんな僕が宿題でもなく、ましてや大変手間のかかるこの作文をどうして書いているのでしょうか。インターネットで調べるといふ行動も極端に言えば、やらなくても良い行動です。さらにインターネットで書かれています。実際にやってみる必要もない

と思います。作文というのは不思議なもので、物事を積極的に進めようとする気持ち。すなわち、やる気が無ければここまで文字を書くことができないはずで

しかし、僕は冒頭で述べたとおり、やる気を出して何かに取り組んだことはありません。これを裏返せば、やる気やモチベーションに左右されて、自分のやるべきことを止めたり、あきらめたりすることは無いということではじめにやると決めたことは中途半端で終え

るのではなく、とことんまでやりきることを
父さんから教わりました。もちろん心の中で
は正直、「面倒くさいな」と思う日だってあ
ります。僕も人間ですから、こういう日は大
好きなチーズケーキに釣られてみるのもあり
かもしれませんね。